

商工連 News

第746号

令和7年12月1日発行
(毎月1日発行 発行部数18,900部)

2025

12



CONTENTS

- 2 商工会法施行65周年記念式典並びに岐阜県商工会連合会創立65周年記念式典開催 / 秋の叙勲・褒章
- 3 経営者の「モヤモヤ」相談室
- 4 未来を応援 / マル経融資

商工会は経営支援を通じて
事業者の未来に貢献する

全国統一スローガン

「商工会は 行きます 聞きます 提案します」



▲味噌煎餅バリエーション



▲自家製味噌仕込み作業



▲味噌蔵の様子

飛騨古川を代表する銘菓「味噌煎餅」
当社は明治41年(1908年)落雁
や饅頭などを製造販売する和菓子店
として飛騨市古川町で創業しました。
朴葉味噌や味噌の天ぷらなど、味噌
のコクと味わいを活かしたこの
土地ならではの食文化をお菓子として
表現できなかと考案したのが当
社オリジナルの「味噌煎餅」です。

「寒の水は腐らない」という言い伝え
のと、毎年正月明けの一番寒い
時期(寒の入り～1月6日ころ)から
節分前までの約1ヶ月間に味噌
を仕込みます。三年間熟成させた風
味豊かな自家製味噌を使い、一枚一

枚を職人の手で焼き上げ、高山市内
有名ホテルや名古屋の百貨店で銘菓
コーナーの手土産品やギフトとして
扱っていただけ他、ネット通販も
行っています。

5代目の娘夫婦のアイデアと地元
の自家焙煎珈琲店とのコラボ企画で
開発した「ちょこっと珈琲入り味噌
煎餅」は、全社員への良い刺激とな
りアイデアを出し合うように。そし
て、飛騨特産の「えごま」を使った
「ちょこっとえごま入り味噌煎餅」
など季節限定を含む12種類以上の
「INOHIRO SWEETS」を誕生させ
ました。

しかし、その「えごま」に問題が
発生。えごま1kg選別する作業に7
人体制で4時間かかり、すべて手作
業である味噌煎餅自体の生産性が低
下してしまいました。そこで、商工
会に相談したところ、補助金を活用
した選別機導入の提案を受け、

経営計画を策定しました。現
状分析や市場動向調査なども
支援いただき、令和6年度小
規模事業者パワーアップ応援
補助金(岐阜県小規模事業者
持続化補助金)を申請したところ
採択され、選別機の導入が
叶いました。選別機は1kgの
えごまをわずか10分で選別で
き劇的に生産性が向上、人気
のある「ちょこっとえごま入り
味噌煎餅」の安定供給が可
能になりました。

元気企業紹介

「INOHIRO SWEETS」
で飛騨の魅力を全国、
全世界へ!

井之廣製菓舗

全社員一丸となつて行う新商品
開発に商工会もバツクアップ

枚を職人の手で焼き上げ、高山市内
有名ホテルや名古屋の百貨店で銘菓
コーナーの手土産品やギフトとして
扱っていただけ他、ネット通販も
行っています。

「INOHIRO SWEETS」を全国、
そして世界へ!

今後は「伝統と革新の両立」を経
営方針に掲げ、主力商品である味噌
煎餅の品質を守りながら、飛騨産の
野草やえごまを使つた若年層や女性
に喜ばれるような健康志向の商品開
発をさらに強化したいと考えていま
す。また、ネット販売とSNS発信
を組み合わせたプロモーションによ
り、全国連や県連合会が実施する販
路開拓事業を活用して全国や海外へ
の販路拡大を目指します。

更に、新たな工場を建設し、
生産体制を強化し、地域の雇用創出や産
業振興にもつながる拠点と位置づけ、飛
騨の魅力を発信していくことをを目指して
います。

(所属 古川町商工会)



▲社員の皆さんと(店舗前にて)



公式HP



INOHIROSEIKHO

Instagram

◆ 有限会社 井之廣製菓舗 ◆

代表取締役社長

井之丸 広幸

飛騨市古川町式之町7-12
0577-73-2302
休年年末年始
8時～18時
日曜日は9時～15時



発行所・発行人
岐阜県商工会連合会
岐阜市薮田南5丁目14の53 OKBふれあい会館9F

商工ニュース 読者アンケート

ご協力ください。ご意見ご要望もこちらまで。





▲県連合会長挨拶



▲中部経済産業局長表彰

▲来賓挨拶
江崎県知事

▲講師 中路 和宏 氏

※表彰の内訳	
中部経済産業局長表彰	優良職員（1名）
岐阜県知事表彰	優良商工会（1商工会）
商工会等功労役員（1名）	役員功労者（1名）
岐阜県議会議長表彰	優良職員（1名）
役員功労者（17名）	優良職員（5名）
岐阜県連合会長表彰	優良商工会（1商工会）
優良職員（10名）	優良功労者（123名）

県連合会は、10月27日（月）岐阜グランドホテルにて、県下商工会の会長、来賓等を含め約190名が出席し商工会法施行65周年記念式典並びに岐阜県商工会連合会創立65周年記念式典を開催しました。

冒頭坂井田県連会長より、物価高や人手不足など中小・小規模事業者を取り巻く厳しい経営環境の中で、地域に根ざし、事業者に最も近い支援機関としての商工会への期待が高まっていることに触れ、より質の高い経営支援体制を構築するため、商工会相互の連携

強化と職員の資質向上を図ることで、地域経済の持続的発展に努めていくと挨拶がありました。

記念式典では、商工会の発展に尽力された功労者の方々に中部経済産業局長表彰・県知事表彰・県議会議長表彰・県連合会長表彰が授与されました。続いて参議院議員渡辺猛之氏、中部経済産業局産業部長柳原和男氏、岐阜県議会副議長高殿尚氏、全国商工会連合会長森義久氏より来賓の挨拶をいただき、商工会の小規模事業者支援に対し感謝の言葉をいただきました。

また、経営支援事例発表中部ブロック大会で優良賞に選ばれた、恵那市恵南商工会堀久美子経営指導員が経営支援の事例発表を行いました。

セミナー後の懇談会では、岐阜県知事の江崎禎英氏から来賓の挨拶をいただきました。その後、出席者による賑やかな情報交換が行われました。

秋の
叙勲・褒章受章者
（令和七年秋の叙勲・褒章受
章者が発表され、次の方（商
工会から報告のあった方）が受
章されました。
おめでとうございます。）

瑞宝双光章

川辺町商工会総代
(消防功労)

佐伯 正己氏

旭日單光章

白川町商工会元副会長
(環境衛生功労)

鈴村 兼利氏

旭日單光章

関市西商工会会員
(中小企業振興功労)

長瀬 幸泰氏

旭日双光章

笠松町商工会元理事
(地方自治功労)

岡田 文雄氏

経営者の 「モヤモヤ」相談室

藤井先生には、全12回シリーズで会員事業者様のための経営に役立つ情報をトピックスとして、連載していただきます。

第8回

「事業承継=引退」ではない

事業承継計画でさらなる飛躍へ
事業承継・引継ぎ支援センター、特別保証、特例税制

株式会社ACC

中小企業診断士 藤井 健太郎



「財を残すは下、事業を残すは中、人を残すは上なり」という後藤新平の言葉があります。上下はともかく、事業承継は「財・事業・人」の全てを次世代へつなぐハイレベルな営みであり、経営者の「器量」が問われるテーマです。ところが實際には、個人の財やプライドへの執着による失敗例が少なくありません。その根底には「事業承継=引退」という強い認識があるからだと思います。

●個人の財やプライドへの執着により会社が弱体化

ある製造業の2代目社長は、リーマンショック後の多額の赤字・借入に耐えきれず突然退任しました。そして保険の解約返戻金3,000万円を個人の退職金に充てたため、業績と資金繰りがさらに悪化してしまいました。

後を継いだ3代目社長はなんとか事業継続してはいましたが、ほぼ出社せず・出社しても社員に社長風を吹かせるだけの2代目が社員平均給与の1.5倍の報酬(社長交代時に株式移転しなかったため2代目は強気)をもらっていました。それを見た社員は優秀な方から続々と辞めていき組織が弱体化。さらには数年後に2代目から「株を買い取れ!」と迫られました。

3代目社長は個人資産から2,500万円(2代目の言い値)を支払い、ようやく承継が完了しました。個人の財としては成功しましたが数年後、2代目は精神疾患⇒一家離散⇒孤独に病没。

当時、私は保険のみの関与でしたが、2代目は営業に、3代目は製造に強みを持っているなーと

思っていました。事業承継を進めつつ協力すれば、2代目が営業拡大・営業チーム育成に活躍して回復・飛躍できたのに…。

●外部を活用した事業承継計画の策定・実行により飛躍へ

先の例では社長の器量だけでなく、実は後継者の知識不足も問題となることがわかります。こうした事態を防ぐには、外部専門家や支援機関の活用が有効です。

ある製造業の専務(当時)は「社長の息子だから会社を継ぐのは社員に失礼」と最初は社外に出ましたが、改めて真摯に働く両親の姿を見て「この会社を残したい!」と入社。創業社長の父は、株価ゼロの段階から株式移転を進める等、承継準備を着々と進めていきました。しかし専務は「社員に受け入れられるのか?」との不安が消えず、信用保証協会・商工会を通じて事業承継・引継ぎ支援センターに相談しました。

その担当者となったのが私ですが、税務・法務等基礎知識を提供し、信用保証協会や税理士等と協力しつつ、技術・顧客・事業用不動産・金融機関との関係等を引き継ぐ「事業承継計画」を策定し、承継後の経営方針を社員に共有する「経営指針発表会」を実施しました。専務が発表し終えた瞬間、社員から「専務がいつも頑張っているのは知っている。ちゃんとついていく!」という温かい声が上がり、社内の結束が深まりました。

社長交代後も父は現場に立って仕事・指導・事業展開の話し合いを楽しく続け、穏やかに亡くなりました。会社はコロナ禍を力強く乗り越えて飛躍へと新規投資もしています。

事業承継は単なる社長交代ではなく、会社の未来を描く戦略的プロジェクトです。特別保証や特例税制等、支援制度も充実してきています。事業承継を「引退」と捉えて財やプライドを手放せずに混乱を招くより「飛躍への準備」と捉えて、商工会と共に第一歩を踏み出してはいかがでしょうか?

次回は【「コロナ融資」どうしたら?】です。お楽しみに!





未来を応援

Ichise

創業×差別化戦略

“トータルリラクゼーション”への道

■ 創業時の課題

2022年に瑞穂市で創業された女性専用プライベートサロン「Ichise」は、筋膜リリースを中心とした施術を提供するエステサロンです。創業者は長年美容業界に従事し、専門学校で技術を習得。高い専門性を活かして独立されましたが、創業当初はコロナ禍の影響もあり、来店客が友人等に限定され、収益が伸び悩む状況でした。

■ 商工会との関わり・支援

～新たな施術の導入と販路開拓～

このような現状を打破したいとの思いから商工会を訪ねられ、伴走支援が始まりました。経営状況のヒアリングを通じて、他店との差別化と販路拡大が課題と判断。創業者が導入を検討していた微弱電流施術機器「KBフィンガーEビューティー」について、タイミングよく「令和5年国の第15回小規模事業者持続化補助金〈一般型〉」の公募期間と重なっていたため、補助金活用による導入を提案しました。支援にあたっては、複数回の打ち合わせと定期巡回を行い、顧客ニーズや市場動向、サロンの強み・弱み、今後の売上目標などを整理。事業者と経営方針を明確化したうえで、



KBフィンガーEビューティーを使用、電流の帯びた手による施術

事業計画書の策定支援を実施しました。補助金採択後は機器導入により施術効果が向上。「体が軽くなった」「凝りが取れた」といった顧客の声が増え、短時間の施術でも高い満足度が得られることができ、来店客数の増加に繋げることができました。その後はSNS（インスタ）を活用した広告宣伝も提案支援し、更なる新規顧客の獲得にも成功しました。

■ 今後に向けて

現在は、電流施術を加えた「体トリートメント」により、健康・美容・ダイエットを包括する“トータルリラクゼーション”を提案できる体制が整い、更なる持続的発展が期待されます。創業からの支援を通じて、事業者の強みを引き出し、補助金制度の活用と情報発信の両面から持続可能な成長に寄与することができました。今後も、事業者の挑戦に寄り添いながら、実効性ある支援を継続していきます。

(瑞穂市商工会)



筋膜リリース

施術室



Ichise

瑞穂市稻里385-1
080-4521-7190



Instagram



サロンHP

小規模事業者のための マル経融資 をご活用ください！



マル経融資 3つの特徴

1 担保不要

2 保証人不要

3 低金利：2.00%（令和7年11月1日現在）

融資制度詳細

- 融資対象 常時使用する従業員が5人以下（商業・サービス業）※宿泊業・娯楽業は20人以下20人以下（製造業・その他）
- 融資額 2,000万円以内 資金使途 運転資金・設備資金
- 返済期間 10年以内（うち据置期間2年以内）
- 融資機関 日本政策金融公庫

融資希望の方は、加入（最寄りの）商工会までお問い合わせください。（年末年始の事業資金対応の際はお早めにご相談ください）

主な要件

- 最近1年以上、同一商工会の地区内で事業を行っている商工業者
- 商工会の経営指導を受けていること（原則6ヶ月以上）
- 所得税、法人税、事業税等を原則としてすべて完納していること

※融資機関の審査等により、ご希望に添えない場合がございます。

